



大山の再開発地域の新しいビルに入居。三角形の土地を生かした入り口に

## 東京都内に5つの 医院を展開。地域の ニーズに応える歯科医院

東京都板橋区にある「ミント歯科」は、大山町の本院に加え、4つの分院を持つ。分院展開する理由や将来の夢を伺ってみた。

医療法人社団ミント会  
ミント歯科・矯正歯科 大山  
理事長 砂岡 直樹 先生



### 3階建てをフル活用し 託児室も併設

「ミント歯科(現ミント歯科・矯正歯科 大山)」が、東武東上線大山駅の商店街に開業したのは、2016年。現在地に近い建物でのスタートだった。

それから8年間のうちに、上板橋、大塚、江古田、巣鴨の4か所に分院を開業。大山も患者が増えたことと、地域の再開発の影響もあり、2024年、現在地に移転リニューアルした。

取材に伺った大山の本院は、新しく建てられた3階建ての建物。1階から3階までをフルに活用している。

1階は広々とした受付と待合スペース。トイレとゆっくり歯磨きができる洗面所を備えたパウダールームもある。

エレベーターを上がると、2階と3階が診療フロアだ。2つの階を合わせ、18台のユニットが稼働し、3階には歯科技工室がある。さらに2階と3階には、それぞれX線室と滅菌・消毒エリア、個室のカウンセリングルームが2部屋ある。

砂岡直樹理事長は、設計でこだわった点をこう話す。「ミント歯科はどの施設も最新の医療機器を設置するようにしていますし、消毒・滅菌環境にも気を配っているので、大山もリニューアルで何か新しく導入したということ

はありません。ただ、託児室の併設は、新しい取り組みだと思います。同じ建物内で歯科医院の隣に店舗スペースが空いていたので、歯科医院併設の託児室を作りました。都内でも広いほうだと思います」

託児室を利用できるのは、患者の生後6カ月から未就学の子どもたち。診療中は、保育士が子どもを預かっている。

現在、ミント歯科では、法人全体で歯科医師が21人、歯科衛生士が18人、歯科助手が32人、歯科技工士が2人、事務局で5人が働いている。

「大山は商店街の人通りが多く、にぎわいがあり、地域の方たちに愛されている場所です。分院を東武東上線の沿線から大きく離れることのない地域に開業したのも、地元にも根ざしながら、患者さんに貢献したいという思いからです」

### 勤務医時代の経験を 自身の開業に生かす

砂岡理事長は、どのように分院展開に取り組んできたのだろうか。

「歯学生の頃は、みんなが開業するのだから、自分もいつかは開業するのだろうと、ぼんやりとしか考えていま